

# 病棟保育を考える

発達保育実践政策学センター (CEDEP) では、これまで、病院の病棟で行われる保育、いわゆる「病棟保育」について研究を行ってきました。病棟には、新生児から思春期の子どもまで、幅広い年齢層の子どもたちがさまざまな理由で入院しています。今年の6月に、診療報酬が改定され、「子どもの成長・発達及び希望により付き添う家族等に配慮した小児入院医療体制の確保」という観点から、病棟保育の保険点数が14年ぶりに増やされました。

しかし、正式なガイドラインもない現在、病棟で行われる保育は依然として課題も多い状況です。本セミナーでは、CEDEPでこれまで行ってきた病棟保育研究で明らかになった知見とともに、現場で長く実践を続けている病棟保育士4名に普段の病棟保育で大事にしていることや実践の工夫などについてお話いただき、ご参加いただく皆様と病棟保育のあり方について考えていきます。



日時 2024年12月8日(日)

12:30~16:00

会場 東京大学本郷キャンパス

情報学環・福武ホール 地下2階  
福武ラーニングシアター

申込 お申込みは  
CEDEP の  
WEB サイトから



事前  
登録制

先着  
160名

参加費  
無料

## プログラム

- 病棟保育の紹介  
発達保育実践政策学センター 助教 石井悠
- 病棟保育の実践  
「子どものころが動く環境づくり」  
総合母子保健センター 愛育病院 保育士 小野鈴奈  
「病院でも、子どもの“いやだ”を保障する」  
日本赤十字社医療センター 保育士 赤津美雪  
「他職種や子どもとの関わりからみえてきた保育の役割」  
神奈川県立こども医療センター 保育士 植木茜  
「病棟の中で“子育て”と“保育”を支える」  
宮城県立こども病院 保育士 土屋昭子
- フロアからの質疑応答
- 休憩
- まとめと展望  
東京大学大学院教育学研究科 教授  
発達保育実践政策学センター センター長  
遠藤利彦

司会

発達保育実践政策学センター  
准教授 野澤祥子



The Center for  
Early Childhood Development,  
Education, and Policy Research